

2-2 教育・学習

重点目標	6-6	効率効果的な教育行政運営を図ります。
教育部		

個別目標	①	各行政部門と連携を強化し、効率効果的な教育行政運営を行います。
-------------	----------	--

目標設定の背景・理由
従来、各行政部門にまたがるような広範囲にわたる事業においては、それぞれの課独自の考え方や方針で事業を実施している場合が多く、このような縦割り行政からの転換を図ることが求められています。特に、学習活動やまちづくり活動推進のためには、事業を総合的に展開し、各行政部門との連携を強化し、調整をし効率効果的な教育行政を行うことが求められています。また、学校事務職員・用務員・栄養士・給食調理員等においては、行政運営の改革、財政運営の健全化を目指し、非常勤職員化を進める必要があります。また、教育行政の充実を目指すために、より充実した公民館・図書館運営のあり方を検討しながら、職員の適正な配置を進めるなど効率効果的な運営を行う必要があります。

★個別目標が達成された状態
教育委員会の各課・学校と各行政部門が連携を取った事務や事業を展開している。
非常勤職員化を進めるべき部署は非常勤職員化が進められている。
専門職員を配置すべき部署には専門職員が配置されている。
職員の適正な配置により、超過勤務を含む人件費が削減されている。
職務に必要な専門的な知識、及び行政全般に渡る広い知識を持つ職員が育成されており、それらの知識が業務に反映されている。

★施策の方向
庁内の横断的な連携の実現を目指す。
職員配置の適正化に取り組む。
人材育成の推進を図る。

★★★ 施策の展開 ★★★		
施策の対象者	関連する施策の分野	
職員	効率的市政運営・人材育成	

★成果指標					
指 標	単位	初期値 (平成18年度)	現状値 (平成22年度)	目標値 (平成28年度)	指標の説明
学校事務職員の非常勤職員化	校	7	10	15	定年退職による非常勤職員化された学校数。
専門的な職員の育成（有資格者）	%	60	60	65	公民館・図書館・ふるさと文化財課の職員数（嘱託含む）に対する社会教育主事・図書司書・学芸員の有資格者の割合。